



ミンガラバーMJET News Letter

13-3-504, Minami Motomachi, Shinjuku-ku, Tokyo Japan 160-0012
Tel: 03-3353-6377, Fax: 03-3353-6377, E-mail: info@mjet-tokyo.com



2017年度事業計画・予算を決定 年次総会の開催

4月23日(土)午後2時より、2017年度の年次総会が開催され、2016年度決算報告と活動報告、及び2017年度事業計画と予算計画が共に承認されました。

出席者は正会員数27名中、本人出席8名、委任状5名、計13名でした。主な論点は以下の通りです。

☆2016年度決算報告と活動報告

- 「参加型エコツーリズム事業」では、1,026本をPhyauk Seik Pin村に植林した。
- インダイン村の「ゴミ収集・処理プロジェクト」について、村では3か所にゴミ箱を設置し、焼却場も設置して運営されている。埋設用の大きな穴を設置することを提案した。
- 「ミャンマー青少年支援事業」では、教室の間仕切りが完成して日本語教室が中学生を対象に開始された。奨学金は2017年度後半に実施する予定。
- 決算報告では、1,070,230円が次期繰越となる。

☆2017年度事業計画と予算計画

- 役員体制は改選期に当たり、前期に引き続き藤村会長(事務局長を兼務)菊池副会長、神田理事、平湯理事、藤本監事が運営する。牧野理事から退任希望が提出されたので、代替りの理事は適格者が得られた時にお願いすることになった。
- 「参加型エコツーリズム事業」のツアーは、東京外国語大学、茨城大学等のゼミと協力し、24~31名の学生参加者を予定し、8月19日(日本出発日)から8月28日(帰国日)の旅程で、Phauk Seik Pin(ピョー・サー・ピン)村で1,000本の植林を予定する。
- 「ミャンマー青少年支援事業」については、2016年度の奨学金2400ドルを2017年度に支出し、日本語・視聴覚教材に必要な資金として、当年度予算で154,000円の供与を行う。
- 「農村開発支援事業」では、タンシンチェ村で「ネリカ米」の試験栽培を再度実施する。「ゴミ収集・処理」プロジェクトは、インダイン村の進捗状況を把握したうえで他の村への普及策を検討する。
- 「広報事業」では、11月25、26日開催予定の「ミャンマー祭り」に本年度も参加する。(来年に延期決定)
- 坂口さんの提案を受け、新たに、植林募金を兼ねた「写真愛好家のためのツアー」を8月の植林ツアーに合わせて実施する。
- 「学生部の活動」では、学生会員が興味を持って注力できる活動として、バガンの小学校の環境教育改善の進め方について、先生達と十分討議・検討して新規モジュールを開発する。同時に在日ミャンマー人留学生との交流を深める。

Aung Dinさん一家とThin Thin Yeeさん 歓迎会を開催

4月12日から20日まで、Aung Dinさんご家族3人とMJYA会長のThin Thin Yeeさんが来日されました。

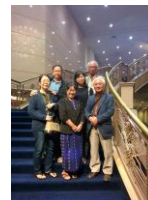
Aung Dinさんは、同志社大学の岡本先生の招きで来日され、同大学で講演された後、上京されて群馬でのNGOと打ち合わせを行ってから、東京都内を視察されました。



Thin Thin Yeeさんは、ミャンマーで30年も日本語を教えてこられました。まだ日本に一度も来たことがありませんでした。今後の僧院での日本語教室の強化を図るために、日本を見ておくことが重要との考えから、MJETの招きで来日されました。

Aung Dinさん一行は京都、奈良、広島、東京、群馬を訪問されました。Thin Thin Yeeさんは、広島と群馬には行かず、東京に滞在して、3月にお会いした岸田理恵さんと日本語教材の選定購入や、コース設定と教授法についての検討を行いました。

4月19日の午後6時半からはMJET事務局で一行の歓迎会を開催しました。3月にミャンマーを訪問した法政大学の学生さんも弓削先生と一緒に参加されました。Thin Thin Yeeさんは帰国後、ヤンゴンの僧院で、日本語教室の運営に尽力されることが期待されています。





ミンガラバーMJET News Letter

13-3-504, Minami Motomachi, Shinjuku-ku, Tokyo Japan 160-0012

Tel: 03-3353-6377, Fax: 03-3353-6377, E-mail: info@mjet-tokyo.com



今年は 879 本を植林

参加者

植林ツアーには、東京経済大学の関口和代先生のゼミ生 23 名と随行者 3 名、計 26 名が、植林、運動会、環境教育に参加することになり、MJET 関係者 8 人と合わせて 34 名が参加して、8 月 19 日から 28 日まで実施されました。

参加者	学生	社会人
MJET グループ	2	6
東京経済大学	23	3
Nature Lovers	0	4
合計	25	15

植林活動

植林活動には、日本側 34 名、ミャンマー側は Nature Lovers から 4 名、村人 20 名と小学校の生徒約 100 名が参加し、「メロン班」、「マンゴー班」、「パパイヤ班」、「パイナップル班」の 4 班に分かれて、苗木 879 本を植林しました。

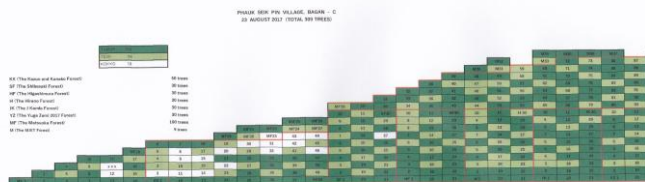


生徒とのパートナー編成



生徒達との共同植林

C 地区の植林地図



皆で植林と談笑



植林ツアーでの楽しいイベント

交流会

交流会は、ヤンゴンの Dhama Vihara Monastery にて 1 回、更に Phyauk Seik Pin 村において 1 回開催しました。

Dhama Vihara Monastery

僧院では小学校の生徒達が踊りをいくつも披露してくれました。日本語クラスの生徒さんもミャンマーの水祭りの踊りを披露。MJET は歌と手品にマIMUMAIMDANCE を披露しました。



生徒達の踊り



水祭りの踊り



手品ショー



生徒達との懇談

Phyauk Seik Pin 村

植林を終えた夜、Phyauk Seik Pin 村の子供たちと交流会を楽しみました。村の子供たちの踊りの後で、MJET 参加者と学生さんが多彩な演芸演目を披露しました。



日本の歌



皿回しリレー



満員の会場



チンロンと一緒に



mj e t

ミンガラバーMJET News Letter

13-3-504, Minami Motomachi, Shinjuku-ku, Tokyo Japan 160-0012
Tel: 03-3353-6377, Fax: 03-3353-6377, E-mail: info@mjet-tokyo.com



運動会

チョーカン村の小学校において以下の5種目の運動会を開催しました。



入場行進



整列

1. 玉蹴りリレー: 幼稚園生と1年生



2. 玉入れ競争: 2年生と3年生



3. 二人三脚リレー: 4年生と5年生



4. タイヤ運びリレー: 6年生と7年生



5. ムカデ競争リレー: 8年生と日本人学生



ゴミ収集・処理プロジェクト

インダイン村において、5つの村から村長を招いて、ワークショップを開催し、来年3月までに各村の「ゴミ収集処理」実行計画を作成し、普及のためのワークショップを開催することになりました。



環境教育

タンシンチュエ村とチョーカン村の小学校3年生と4年生を対象として、「水の性質」と「水は循環する」という二つのモジュールを実施しました。



植林ツアー事前勉強会を開催

植林ツアーに参加するための事前勉強会と準備会合も、東京外国語大学、東京経済大学、MJET事務局、JICA地球プラザの4か所で開催されました。

第一回勉強会: 5月27日(土) @午後2時~5時

- ミャンマーの社会・経済事情(藤村建夫: MJET 会長)
- バガン地域の環境とゴミ収集・処理システムの現状と展望(神田道男理事)

第二回勉強会: 6月24日(土) @午後2時~5時

- ミャンマーの教育改善ニーズ(ミヤツカラヤ、日本経済大学教授)

- 環境教育実習のモジュール案の作成

第三回勉強会: 7月22日(土) @午後2時~5時

- 経済開発におけるエコツーリズムの役割(中嶋真美、玉川大学准教授)
- 日本の対ミャンマー協力の現状と課題(鈴木忠、JICA アジア第二部東南アジア4課企画役)

